

教科目標：言語活動をいかした基礎基本の定着

学期	月	単元名・内容	到達目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	4	1 「学びをひらく」 ◆朝のリレー	いろいろな言葉にふれながら、学習の見通しをもつ	音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 速さ、声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さを工夫している。 登場人物の心情や行動を表す言葉に着目して作品を読み進めている。	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。	音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている 場面の展開について、描写を基に積極的に捉え、学習課題に沿って感想を交流しようとしている。
	5	◆野原はうたう				
	6	◆はじまりの風 ◆言葉1 音声の仕組みや働き 漢字1 漢字の組み立てと部首	説明の工夫を捉えながら、ものの見方を広げる	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。文法の必要性を知り、言葉の単位とその働きについて理解している。	「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。「問い」と「答え」から中心的な部分を捉え、筆者の主張を理解している。序論・本論・結論の段落のまとまりに着目し、要旨を捉えている。	進んで要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。単語の類別を理解するために、今までの学習を生かして、積極的にその前提となる言葉の単位について理解しようとしている。
	7	◆ちょっと立ち止まって ◆言葉2 指示する語句と接続する語句 ◆文法への扉1 漢字語句の確認				
	9	3 「言葉に立ち止まる」 ◆弁論原稿作りと発表	豊かな表現にふれ、言葉のもつ力を考える	詩の中の語句の意味を捉えながら、語感を磨き、語彙を豊かにしている。 文中で使われている比喩の文脈上の意味を理解している。 指示する語句と接続する語句の役割を理解している。	詩に描かれている情景を想像し、表現の効果を考えている。自分の思いが読み手に伝わるように、言葉や表現を工夫して詩を書いている。 各段落の役割を理解し、要旨を捉えている。	文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって詩を創作しようとしている。 進んで要旨を把握し、学習課題に沿って言葉について考えを深めようとしている。
	10	◆空の詩三編 さまざまな表現技法 ◆比喩で広がる言葉の世界 ◆文法 言葉のまとまりを考えよう				
後期	1	4 「心の動き」 ◆大人になれなかった弟たちに… ◆星の花が降るころに ◆言葉2 方言と共通語 ◆漢字2 漢字の音訓	言葉を通して、人の思いに寄りそう	様子や動きを何かにたとえた表現を探し、どのような情景や気持ちをたとえているのか考えている。 漢字の音・訓について理解し、熟語を正しく読んだり、同じ熟語の音・訓の読み方を使い短い文を作ったりしている。	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。 場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈している。	登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習の見通しをもって朗読しようとしている。 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	1	◆「筋道を立てて」 ◆「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ ◆文法 言葉の関係を考えよう ◆大阿蘇 漢字語句の確認				
	1	6 「いにしへの心にふれる」 ◆いろは歌 ◆蓬萊の玉の枝「竹取物語」から ◆今に生きる言葉	古典の文章に出会い、現代とのつながりを考える	音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。 音読に必要な文語のきまり、漢文特有のリズムや言い回しなどについて理解している。	「蓬萊の玉の枝」に登場する人々の関係や思いに着目して読み、現代の自分たちと比べ、古典の世界と現代の人々に共通する部分を考えている。 「矛盾」や、「推敲」「蛇足」「四面楚歌」の基になった故事を調べ、どんな意味に使われるようになったか説明している。	進んで古文を音読し、学習課題に沿って描かれている古典の世界を想像しようとしている。 積極的に漢文を音読し、今までの学習を生かして故事成語を使った文章を書こうとしている。
	2	7 「価値を見いだす」 ◆「不便」の価値を見つめ直す ◆原因と結果 ◆文法への扉2 言葉の関係を考えよう				

3	8 「自分を見つめる」 ◆少年の日の思い出 ◆文法への扉3 二十歳になった日 漢字3 漢字の成り立ち 単語の性質を見つけよう ◆言葉3 さまざまな表現技法	作品や生活と向き合い、 ものの見方を深める	場面描写の言葉や登場人物の心情を表 す言葉に着目している。 「単語の分類」「品詞」「体言と用言」 について、理解を深めている。	時間・場所・出来事・語り手に着目し て作品の構成や展開を捉えたり、具体的 な表現を挙げてその効果について自分 の考えをまとめたりしている。 場面の展開や描写に着目しながら、筆 者の「空」についての思いや「父親」へ の思いを捉えている。	文章の構成や展開、表現の効果 について積極的に考え、学習の見 通しをもって別の人物の視点から 文章を書き換えようとしている。 今までの学習を生かして、積極 的に単語の類別について理解しよ うとしている。
---	---	--------------------------	--	---	---

令和8年度 川崎市立住吉中学校 社会科年間計画 第1学年【地理】

教科目標:課題をとらえて、仲間と協働しながら解決に取り組む能力の育成

月	項目	学習内容・ 学習活動	指導上の留意点	評価規準の具体例 ①=知識・技能 ②=社会的な思考、判断、表現 ③=主体的に学習に 取り組む態度
第1部 世界と日本の地域構成				
5 6	第1章 世界の姿 第2章 日本の姿	○緯度と経度により世界の主な国々の位置関係をとらえたり、日本周辺の海洋や構成する島々から領域の広がりをとらえたりすることなどに着目して、地域構成の特色を多面的・多角的に考察し、表現する力を育成する。 ○学習の全体を通して、世界と日本の地域構成を大観し理解できるようにする。		①知識・技能 ・緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解している。 ・日本の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解している。 ②社会的な思考・判断・表現 ・世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。 ・日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 世界と日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
第2部 世界のさまざまな地域				
9 10 12 1 2	第1章 人々の生活と環境 第2章 世界の諸地域	○人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解するとともに、世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性及びそれらの関係性について理解する。 ○世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する。		①知識・技能 ・人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解している。 ・世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解している。その際、世界の主な宗教の分布についても理解している。 ②社会的な思考・判断・表現 世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
2	第4章 世界のさまざまな地域の調査	<この単元のねらい> 世界の諸地域に暮らす人々の生活のようすを的確に把握できる地理的事象を取りあげ、さまざまな地域または国の地域的特色をとらえる適切なテーマを設けて追究させ、世界の地理的認識を深めさせるとともに、世界のさまざまな地域または国の調査を行う際の視点や方法を身につけさせる。		<この単元の評価基準> ①調査対象の国や地域の調査とその地域的特色に関心をもち、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 ②調査対象の国や地域の地域的特色をとらえる適切なテーマを設定して、世界の地域の調査を行う際の視点や方法をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③調査対象の国や地域の調査と地域的特色に関する資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 ④調査対象の国や地域の調査について、地域的特色にとともに、世界の国や地域の調査を行う際の視点や方法を理解し、その知識を身につけている。

学期	月	単元名・内容	学習のねらい	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
前期	4	2章 正の数、負の数 1 符号のついた数 2 数の大小 3 加法 4 減法	・数の四則計算の意味と方法を理解し、その計算ができるようにすること。 ・数の拡張と数の概念を理解すること。	正の数、負の数の必要性和意味を理解し、正の数、負の数の四則計算をしたり、具体的な場面で正の数、負の数を使って表したり処理したりすることができる。	算数で学習した数の四則計算と関連づけて、正の数、負の数の四則計算の方法を考察し表現したり、正の数、負の数を具体的な場面で使ったりすることができる。	正の数、負の数のよさに気づいて粘り強く考え、正の数、負の数について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、正の数、負の数を使った問題解決の過程をふり返って検討しようとしていたりしている。	
		5 6 7	5 加法と減法の混じった式 6 乗法 7 除法				
		8 9	8 四則の混じった式の計算 9 正の数、負の数の活用				
		6	1章 整数の性質 1 素数と素因数分解 2 素因数分解の活用	・自然数をいくつかの自然数の積の形に表す。 ・約数などの整数の性質についての理解を深める。	自然数、素数、素因数の意味を理解し、自然数を素因数分解することができる。	約数などの整数の性質を素因数分解によって捉え直すことができる。	整数の性質のよさに気づいて粘り強く考え、整数の性質について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、整数の性質を使った問題解決の
	3章 文字と式 1 文字の使用 2 式の表し方 3 数量の表し方 4 式の値 5 式の読みとり		・数量や数量関係および法則を、文字を使って式に表現したり、式の意味を読みとったり、式を計算したりすることによって、文字を使うことのよさに触れる。	文字を使うことの必要性和意味を理解し、文字を使った式における乗法と除法の表し方を知り、簡単な1次式の加法と減法の計算をすることができる。さらに、数量の関係を法則などを文字を使った式に表すことができることを理解し、数量の関係を法則などを式を使って表したり読みとったりすることができる。	具体的な場面と関連づけて、1次式の加法と減法の計算の方法を考察し表現することができる。	文字を使うことのよさに気づいて粘り強く考え、文字を使った式について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、文字を使った式を用いた問題解決の過程をふり返って検討しようとしていたりしている。	
	6 7 8		6 項と係数 7 1次式の加法、減法 8 1次式の乗法、除法				
	9	9 文字を使った式の活用 10 数量の関係を表す式					
		4章 方程式 1 方程式とその解 2 等式の性質 3 方程式の解き方	・方程式とその解の意味を理解すること。 ・方程式の性質を理解し、それを使って1次方程式が解けること。 ・移項の考えなどを使って1次方程式を能率よく解けること。 ・1次方程式を使っているいろいろな問題を解決できること。	方程式の必要性和意味および方程式の中の文字や解の意味を理解し、簡単な方程式を解くことができる。	等式の性質をもとにして、方程式を解く方法を考察し表現することができる。方程式を具体的な場面で使うことができる。	方程式のよさに気づいて粘り強く考え、方程式について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、方程式を使った問題解決の過程をふり返って検討しようとしていたりしている。	
			4 いろいろな方程式 5 方程式の活用				
			6 比例式とその活用				
後期	10	5章 比例と反比例 1 関数 2 比例の式 3 比例のグラフ 4 反比例の式 5 反比例のグラフ	・事象の中から比例、反比例の関係にある2つの量を取り出し、その意味を理解すること。 ・比例、反比例の関係を表し、式、グラフに表し、その特徴を調べることができること。 ・比例、反比例を用いて身のまわりの問題を解決することができること。	関数関係や座標の意味、比例、反比例について理解し、比例、反比例を表、式、グラフなどに表すことができる。	比例、反比例としてとらえられる2つの数量について調べ、それらの変化や対応の特徴を見いだしたり、比例、反比例を使って具体的な事象をとらえ考察し表現したりできる。	比例、反比例のよさに気づいて粘り強く考え、比例、反比例について解決学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、反比例を使った問題解決の過程をふり返って検討しようとしていたりしている。	
		11	6 比例と反比例の活用				
		後期	11	6章 平面図形 1 点と直線 2 基本 3 基本的作図 4 いろいろな作図	・関係概念や対称概念をより明確にするとともに、それらの概念を、記号を使って表せるようにすること。 ・見通しをもって基本的な図形を作図したり、作図のしかたを「対称性」や「図形を決定する要素」に着目したりすることによって見直すなどの活動を通して、平面図形についての理解を深めること。 ・図形の移動を通して、位置関係、対応する辺や角の相等関係、図形の合同などに着目することで、図形の性質を見いだしたり、図形の見方をより豊かにしたりすること。	垂直二等分線、角の二等分線、垂線などの基本的な作図の方法や、平行移動、回転移動、対称移動について理解することができる。	図形の性質に着目して基本的な作図の方法を考察し表現したり、図形の移動に着目して2つの図形の関係について考察し表現したり、基本的な作図や図形の移動を具体的な場面で活用したりすることができる。
12	5 図形の移動 6 円の周の長さや面積 7 おうぎ形の弧の長さや面積						
後期	1		7章 空間図形 1 いろいろな立体 2 直線と平面 3 線や面を動かしてできる立体 4 立体の表し方	・空間における直線や平面の位置関係を理解すること。 ・空間図形を平面図形の運動によって構成されたものとして捉えること。 ・空間図形を平面上に表現すること。 ・基本的な立体について、求積の方法を身につけること。	空間における直線や平面の位置関係を知り、おうぎ形の弧の長さや面積、基本的な柱体や錐体、球の表面積や体積を求めることができる。	空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものと捉えたり、空間図形を平面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を見いだしたり、立体図形の表面積や体積の求め方を考察し表現したりすることができる。	空間図形の性質や関係をとらえることのよさに気づいて粘り強く考え、空間図形について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、空間図形の性質や関係を使った問題解決の過程をふり返って検討しようとしていたりしている。
		2	8章 データの分析 1 度数の分布 2 散らばりと代表値	・データを収集、整理する場合には、目的に応じた適切な能率的なデータの集め方や、合理的な処理のしかたが重要であることを理解できること。 ・ヒストグラムや相対度数、累積度数などを理解し、それらを用いてデータの傾向を読みとり、批判的に考察し判断することができること。 ・これまで確定した事象を表すのに用いられてきた相対度数が、不確定な事象の起こりやすさの程度を表すためにも用いられることを知り、不確定な事象の起こりやすさを表現することができること。	ヒストグラムや相対度数などの必要性和意味を理解し、データを表やグラフに整理したり、多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性と意味を理解したりすることができる。	目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータの分布の傾向を読みとり、批判的に考察し判断したり、多数の観察や多数回の試行の結果をもとにして、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読みとり表現したりすることができる。	ヒストグラムや相対度数、多数の観察や多数回の試行によって得られる確率などのよさに気づいて粘り強く考え、学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、問題解決の過程をふり返って検討しようとしていたり、多面的にとらえ考えようとしていたりしている。
			3	3 相対度数 4 累積度数 5 ことからの起こりやすさ 6 データの活用			



令和8年度 第1学年 理科年間指導計画

担当 大津 銀冴 小野崎 良子

月	単元	章	学習内容	評価			
				知	思	主	
4月 (8)	自然の中にあふれる生命 (9)	序章 自然の中にあふれる生命 (学びのプラン配布)	1 自然観察のポイント		○	○	
			2 身のまわりの生物の観察	◎	○		
			3 生物のなにかま分けのしかた		○	○	
5月 (10)	[生命] いろいろな生命とその共通点 (18)	1章 植物の特徴と分類	1 花のつくり	○		○	
			2 子葉、葉、根のつくり	○	○		
			3 種子をつくらない植物	○	○		
			4 植物の分類		◎	○	
		2章 動物の特徴と分類	1 動物の体のつくりと生活		◎	○	
			2 背骨のある動物	◎	○		
			3 背骨のない動物	○	◎		
			4 動物の分類		◎	○	
6月 (12)	14 LET BELOW WATER 15 環境を守る	力だめし(学びのプラン提出)					
		光・音・力による現象(学びのプラン配布)					○
		1章 光による現象	1 光の進み方	◎	○		
			2 光が通りぬけるときのようす	○	○	○	
			3 レンズのはたらき	○	○	◎	
7月 (6)	[エネルギー] 光・音・力による現象 (27)	2章 音による現象	1 音の伝わり方	○	○		
			2 音の大小と高低	○		○	
8月 9月 (11)	13 CLIMATE ACTION	3章 力による現象	1 力のはたらき	◎	○		
			2 力の大きさのはかり方	○	◎	○	
			3 重さと質量	○		○	
			4 力の表し方	○	○	○	
			5 1つの物体に2つの力がはたらくとき	○		○	
		力だめし(学びのプラン提出)					
10月 (12)	補充・深化(2)						
		身のまわりの物質(学びのプラン配布)					○
		1章 いろいろな物質とその性質	1 物質の区別	◎	○		
			2 重さ・体積と物質の区別	◎	○		
11月 (12)	[物質] 身のまわりの物質 (24)	2章 いろいろな気体とその性質	1 気体の区別	○	○		
			2 身のまわりのものから発生した気体の区別		○	◎	
		3章 水溶液の性質	1 物質のとけ方	○	○		
			2 濃さの表し方	○			
			3 溶液のとり出し方	◎	○	○	
12月 (7)	16 PEACE, JUSTICE AND STRONG INSTITUTIONS	4章 物質のすがたとその変化	1 物質のすがたとその変化	○	○		
			2 状態変化と温度	○	○		
			3 混合物の分け方		○	○	
		力だめし(学びのプラン提出)					
1月 (9)	[地球] 活きている地球 (22)	活きている地球(学びのプラン配布)					○
		1章 身近な大地	1 身近な大地の変化	○		○	
	2 地域の大地の観察				◎	○	
		2章 ゆれる大地	1 ゆれの発生と伝わり方	◎	○	○	
	2 ゆれの大きさ				○		
	3 日本列島の地震		○				
		3章 火をふく大地	1 火山の噴火	○	○		
	2 マグマの性質と火山				○	○	
			3 マグマからできた岩石	○	○		
2月 (12)	15 陸の豊かさも守ろう	4章 語る大地	4 日本列島の火山	○			
			1 地層のでき方	○			
			2 地層の岩石	◎	○		
			3 地層・化石と大地の歴史	◎	○		
			4 大地の恵みと災害		○	○	
3月 (6)		力だめし(学びのプラン提出)					
	補充・深化(5)						

教科目標:

- (1)曲想と音楽の構造などの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
- (2)音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3)主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

学期	月	単元名・内容	学習のねらい	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	4	「校歌」	曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、学校や地域への思いを感じ取りながら歌唱表現を工夫して歌う。	知) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 技) 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の付き方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	思) リズム、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図を持っている。	曲想と音楽の構造との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
	5	四季より「春」	曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	知) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	思) 音色、テクスチャ、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や、雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	曲想と音楽の構造との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	6	「浜辺の歌」	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。	知) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 技) 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	思) リズム、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図を持っている。	曲想と音楽の構造との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
	7	Let's Create!	表したいイメージと関わらせながら、音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について理解するとともに、それらを生かした創作表現を創意工夫して音楽をつくる。	知) 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 技) 創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの表現を身に付け、創作で表している。	思) 音色、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図を持っている。	音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習内容に取り組もうとしている。
	7 8 9 10	「夢の世界を」 合唱コンクール 自由曲	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫し、合わせて歌う。	知) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 技) 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。	思) 音色、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や、雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図を持っている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。

後 期	10	魔王	曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	知) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	思) 音色、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や、雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	曲想と音楽の構造との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	11 12	箏	楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解するとともに、それらを生かした器楽表現を創意工夫して演奏する。	知) 箏の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。 技) 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。	思) 音色、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	楽器の音色や響きと奏法との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
	1	イメージと音楽	曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	知) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	思) リズム、速度、旋律、を知覚し、それらの働きが生み出す特質や、雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	曲想と音楽の構造との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	2 3	3年生を送る会 合唱	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫し、合わせて歌う。	知) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。技) 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身につけ、歌唱で表している。	思) 音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や、雰囲気を感じながら、知覚したことと、感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。

教科目標：(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を 創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

学期	月	単元名・内容	学習のねらい	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	4 5 6 7 8 9 10	オリエンテーション	オリエンテーションを通して美術の授業の内容や特性について知り、視点を広げる。			(態鑑) 1年生の美術における表現活動の意義や内容を知り、今後の表現活動に倒して期待と意欲をもって学ぼうとしている。
		文字が生み出すイメージ ・レタリング ・絵文字	イメージや伝えたい内容が相手に分かりやすく伝わるよう、形や色彩、構成を考え、材料や用具などを工夫して文字をデザインする。	(知) 文字や文字が意味するものの形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解している。 (技) 絵の具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫し、制作の順序などを考えながら見直しを持って表している。	(発) 文字の意味やイメージを基に、伝える相手や場面などから主題を生み出し、分かりやすさと形や色彩などとの調和を考え、表現する構想を練っている。 (鑑) 文字の意味と分かりやすさとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	(態表) 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく意味や美しさなどを生かして文字をデザインするなど伝達のデザインの目的や機能を考えて構想を練ったり、意図に応じて工夫し見直しを持って表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 (態鑑) 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく文字の意味と分かりやすさとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
		色の学習	配色の基本と、色相、明度、彩度など色彩の特徴や感情にもたらす効果などについて知る。	(知) 色相、明度、彩度などが感情にもたらす効果や、色を与える効果、社会での役割、よさや美しさなどを理解している。	(鑑) 身近なインテリア、マーク、商品などの配色からよさや美しさなどを感じ取り、制作の意図と工夫、社会の中の色の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	(態鑑) 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく造形的なよさや美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
		芸術家の生き方 (鑑賞) 岡本太郎	作品のよさや特性などに関心を持ち、構図や色彩、作風や印象などを捉え、意図と創造的な工夫、美術文化の継承と創造について考えるなどの見方や感じ方を広げる。	(知) 構図や色彩が感情にもたらす効果や、技法などの特徴を基に、作品の印象などを全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	(鑑) 作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、身近なものに対する作者の心情や表現の意図と工夫について考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	(態鑑) 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現のよさや美しさを感じ取り、構図や色彩、線などの特徴や、技法に着目し作風や作品の印象について考えるなどして考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
		原始の美術に出会う旅 (鑑賞)	形や色彩、模様、材料や場所に着目し、原始美術の造形的なよさや美しさ、当時の人々の願いや作者の意図と工夫について考えるなど見方や感じ方を広げる。	(知) 形や色彩、模様、材料、場所などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、よさや美しさ、印象などを全体のイメージで捉えることを理解している。	(鑑) 日本及び諸外国の文化遺産などから、よさや美しさなどを感じ取り、人々の願いや、作者の意図と表現の工夫、美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	(態鑑) 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく造形的なよさや美しさなどを感じ取り、人々の願いや、作者の意図と表現の工夫、美術文化について考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
		芸術家の生き方 (鑑賞) レオナルド・ダ・ヴィンチ	作品のよさや特性などに関心を持ち、構図や色彩、作風や印象などを捉え、意図と創造的な工夫、作者の意図と工夫について考えるなど見方や感じ方を広げる。	(知) 色彩や光などが感情にもたらす効果や、描き方の特徴、作風などをもとに、作品を全体のイメージで捉えることを理解している。	(鑑) 作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、身近なものに対する作者の心情や表現の意図と工夫について考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	(態鑑) 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現のよさや美しさを感じ取り、構図や色彩、線などの特徴や、技法に着目し作風や作品の印象について考えるなどして考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
		デッサン	鉛筆の扱い方を理解し、デッサンの基礎を身に付け、明暗、質感などの特徴について理解し、描くことに対する楽しみを味わう。	(技) 材料の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求し、制作の順序などを総合的に考えながら、見直しを持って創造的に表している。	(発) 鉛筆を使った濃淡の方法やより効果的な扱い方や道具を工夫、光と影の関係性などについて考えるなどして心豊かに表現しようとしている。	(態表) 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に光と影の特性などを生かして構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。
みつめて、感じて、かいて	身近なものや愛着のあるものを見つめ、感じ取った形や色彩、明暗、質感などの特徴や美しさを基に主題を生み出し、表現方法を工夫して絵で表現する。	(知) 形や色彩、明暗、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、よさや美しさ、印象などを全体のイメージで捉えることを理解している。 (技) 線の強弱や水加減などの鉛筆や絵の具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。	(発) 身近なものを見つめ感じ取った形や色彩、質感の特徴や美しさなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 (鑑) 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	(態表) 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく身近なものの特徴や美しさなどを基に構想を練ったり、意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 (態鑑) 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく造形的なよさや美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		
後期	11 12 1 2 3	そのものらしさをかたちに	身近にあるものを見つめ、形や色彩、質感などの特徴を捉えたり何かに見立てたりして主題を生み出し、構成や材料、用具を工夫して立体で表現する。	(知) 形や色彩、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、何かに見立てたり、全体のイメージで捉えたりすることを理解している。 (技) 粘土や絵の具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫し、制作の順序などを考えながら見直しを持って表している。	(発) 身近なものを見つめ感じ取った形や色彩、質感の特徴や美しさなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 (鑑) 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	(態表) 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく身近なものの特徴や美しさなどを基に構想を練ったり、意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 (態鑑) 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく造形的なよさや美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
		暮らしを彩る文様	文様の形や色彩、構成などの効果を知り、飾るものや使う場面などを考える。また、自分の考えや見方を大切にして、文様を表したり、鑑賞したりする活動に楽しく取り組む。	(知) 文様の形や色彩、構成などが見る人に与える効果や、造形的な特徴をもとに、文様を全体のイメージで捉えることを理解している。	(鑑) 日本や諸外国の文様の造形的なよさや美しさを感じ取り、表現の工夫や文様に込められた願い、生活との関わりについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	(態鑑) 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく日本や諸外国の文様に込められた願いや生活との関わりなどを考える鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
		願いを込めた消しゴムはんこ	伝えたい内容やイメージを基に、象徴するものや形や色彩、単純化の効果を考え、材料や用具などを工夫して文様をデザインする。	(知) 伝えたい内容やイメージを基に、象徴するものや形や色彩、単純化の効果などを基に、全体のイメージで捉えることを理解している。 (技) 彫刻刀の使い方を身に付け、意図に応じて工夫し、制作の順序などを考えながら見直しを持って表している。	(発) 伝えたい内容やイメージを基に、伝わりやすさと形や色彩などとの調和を考え、表現する構想を練っている。 (鑑) 伝えたい内容と単純化、省略化など洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	(態表) 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく分かりやすく印象に残る文様をデザインするなど伝達のデザインの目的や機能を考えて構想を練ったり、意図に応じて工夫し見直しを持って表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 (態鑑) 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく伝えたい内容と単純化、省略化など洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

令和8年 保健体育科 年間授業計画

指導目標

【体育分野】
見方・考え方を働かせ、適切な課題解決やその解決に向けて、知識や技能を習得しながら、主体的に運動に取り組む資質や能力を育てる体育学習。
【保健分野】
見方・考え方を働かせ、自他の課題を発見し、健康の保持増進に関する内容を実生活の中で生かすことができる資質や能力の育成。

①生涯にわたって運動やスポーツに親しみ、スポーツとの多様な関わり方を見いだす力を養い、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の育成を重視する。
②運動の特性に触れながら、基本的な知識及び技能の習得、課題を解決するために思考力、判断力、表現力等の育成を図り、主体的に学習に取り組む態度を養う。
③健康・安全についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝える能力を養う。

学期	前期																後期												指導者 1～3学年 渡辺 克己 油井 航 富樫 ふみ 佐川 桃子															
	4月				5月				6月				7月	8月	9月					10月			11月		12月			1月			2月			3月										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28		29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43
学校行事	入学式・新歓・授業参観 仮入部・教科総会 任命式				体育祭練習開始 第79回体育祭 耳鼻科検診 教育相談				修学旅行・三者面談 新体力テスト 前期中間テスト・壮行会 前期生徒総会				前期前半終了		市総体開会式	前期期末テスト 防災スクール					前期終業式 文化祭・合唱コンクール 市駅伝大会			3年後期中間テスト 2年職場体験		1・2年後期中間テスト 小6見学会 80周年実行委員会			後期前半終了 教育相談 自然教室			3年学年末テスト 卒業と進級を祝う会			1・2年学年末テスト 後期生徒総会・三送会 卒業式			修了式・離任式						
1学年	1・2組 3・4・5組		体育理論	ガイダンス 体づくり運動	B 器械運動 マット・跳び箱 (1・3、4組)		C 陸上競技 短距離走・リ レーハードル走 (1・3、4組)		D 水泳 クロール				E 球技 バレーボール (1・3、4組)		E 球技 ソフトボール (1・3、4組)		F 柔道			E 球技 バスケットボール (1・3、4組)			E 球技 サッカー(2・4、5組)			E 球技 バスケットボール (2・4、5組)			G ダンス			体づくり運動 8 体育理論 3 器械運動 9 陸上競技 9 水泳 8 球技Ⅰ 9 球技Ⅱ 9 柔道 9 球技Ⅲ 9 球技Ⅳ 9 保健 15 ダンス 8	合計 105											
保健	クラスごと 健康な生活と疾病の予防①																心身の機能の発達と心の健康																											
2学年	1・2組 3・4組		体育理論	ガイダンス 体づくり運動	B 器械運動 鉄棒・平均台 (1・3組)		C 陸上競技 走り幅跳び 走り高跳び (1・3組)		D 水泳 平泳ぎ				E 球技 バレーボール (1・3組)		E 球技 ソフトボール (1・3組)		F 柔道			E 球技 バスケットボール (1・3組)			E 球技 サッカー(1・3組)			G ダンス			体づくり運動 8 体育理論 3 器械運動 9 陸上競技 9 水泳 8 球技Ⅰ 9 球技Ⅱ 9 柔道 9 球技Ⅲ 9 球技Ⅳ 9 保健 15 ダンス 8	合計 105														
保健	クラスごと 傷害の防止																健康な生活と疾病の予防②																											
3学年	1・2組 3・4組		体育理論	ガイダンス 体づくり運動	選択Ⅰ (1種選択) B 器械運動 C 陸上競技				D 水泳 (学校選択) クロール 平泳ぎ 背泳ぎ				選択Ⅱ (E ①～④より1種目選択) E 球技 ①ソフトボール ②バレーボール ③サッカー ④バスケットボール					F 柔道 (学校選択)			選択Ⅲ (E ①～④より1種目選択) E 球技 ①ソフトボール ②バレーボール ③サッカー ④バスケットボール			G ダンス (学校選択)			体づくり運動 11 体育理論 3 選択Ⅰ 17 (器械・陸上) 水泳 7 選択Ⅱ 17 (ソフト・バレー) 柔道 8 選択Ⅲ 17 (サッカー・バスケ) ダンス 7 保健 18	合計 105																
保健	クラスごと 健康と環境																健康な生活と病気の予防③																											

令和8年度 技術・家庭科（技術分野）年間計画 第1学年

教科目標：生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、よりよい生活の実現に向け、生活を工夫し創造する資質・能力の育成

題材	学習活動	評価の観点		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
テーション	身の回りから技術を考えよう ・オリエンテーション・ガイダンス ・生活や産業の中で利用されている技術	生活を「快適」「安全」「豊か」にするため知識が身についている。 ・ワークシート	生活環境をより快適にするためにどのような技術が必要か考えることができる。 ・ワークシート	生活や産業の中で技術の果たしている役割について考えようとしている。 ・ワークシート
材料と加工の技術	・生活や社会を支える材料と加工の技術 ・技術に込められた問題解決の工夫	社会を支える技術について理解できる。 ・ワークシート	問題を解決する技術を考え、表現することができる。 ・ワークシート	
	・材料の特徴と加工方法 ・材料や加工の特性等の原理・法則と基礎的な技術の仕組み	材料(木材、金属、プラスチックなど)の特徴と利用法を知る。 ・製作品に適した加工方法を知る。	製品や加工方法に適した材料を選ぶことができる。 ・ワークシート	
	・製作図 ・キャビネット図の練習 ・等角図の練習 ・正投影図の練習	製作図の書き方を理解している。 ・作品 ・テスト		製作図に関心を持ち、主体的に製作に取り組んでいる。 ・授業観察
	・問題の発見と課題の設定 ・成形の方法などの構想と設計の具体化 ・作品の構想	接合方法や材料の使い方を理解している。 ・ワークシート	使用目的に適した製作品の機能や構造を考え表現することができる。 ・ワークシート	製作品の構想に主体的に取り組んでいる。 ・授業観察
	・作品の製作図	作品の構想を図にかきあらわすことができる。 図のかきかた、寸法のあらわしかたが理解できている。 ・作品	安全や使いやすさなどを考えた設計図が製作できている。 ・作品	構想図を元に、主体的に製作図を作成している。 ・授業観察
材料と加工の技術	・工具や機器の安全な使用、適切な製作、検査・点検	工具や機器を安全に扱う方法をまとめることができる。 ・ワークシート		工具や機器を自らすすんで安全に扱うことができる。 ・授業観察
	・工具利用の練習	工具を適切に使用し、材料の加工ができる。 工具の安全かつ適切な使用方法をまとめることができる。 ・ワークシート ・テスト		
	材料と加工の技術 ・部品加工	工具の使い方、材料の加工方法の知識や技能を習得し実践している。 ・授業観察 ・ワークシート	よりよい材料の加工方法を考え判断することができる。 ・授業観察 ・ワークシート	作品の製作に主体的に取り組んでいる。 ・授業観察
	・部品の組み立て	部品の組み立て方について知識や技能を習得し実践している。 ・授業観察 ・ワークシート	よりよい材料の加工方法を考え判断することができる。 ・授業観察 ・ワークシート	作品の製作に主体的に取り組んでいる。 ・授業観察
	・製作品の仕上げ	作品の仕上げ方について知識や技能を習得し実践している。 ・授業観察 ・ワークシート	よりよい材料の加工方法を考え判断することができる。 ・授業観察 ・ワークシート	作品の製作に主体的に取り組んでいる。 ・授業観察
	・製作品の適切な評価・活用 ・社会の発展と材料と加工の技術 ・生活や社会、環境との関わりを踏まえた技術	安全に作業を進めるための手順をまとめることができる。 ・ワークシート	完成した作品の評価や問題点を考え、表現することができる。 ・ワークシート	完成した作品について、適切な評価や活用ができる。 ・ワークシート
	情報の技術	・情報の表現、記録、計算、通信の原理 ・情報のデジタル化、セキュリティの仕組み ・情報モラル	情報の表現などの知識を身につけ、適切な操作をしようとしている。 ・授業観察	情報の表現などに関心を高め、主体的に作業を進めようとしている。 ・授業観察

教科目標：生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、よりよい生活の実現に向け、生活を工夫し創造する資質・能力を育てる。

学期	月	単元名・内容	学習のねらい	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度						
前期	4	ガイダンス 「自立と共生を目指そう」 「中学校家庭分野の学習を見てみよう」 「私たちの家族と家庭生活」 ・家族・家庭の機能 ・家庭の仕事と中学生としての自立 ・家庭生活と地域との関わり	3年間に家庭科で学ぶ内容及び自立と共生の意味を理解する。家族や家庭の多様性や機能について理解し、自らより良い生活を営もうとする態度を養う。 家庭生活と地域の関わりについて考え、その必要性を理解する。	・自立と共生の意味が理解できる。 ・基本的な家族・家庭の機能及び地域の関わりについて理解できる。 ・自分の住む地域でどのような活動があるか理解できる。	・家庭科の学習内容が他の教科と関連があることを考察できる。 ・家族・家庭の多様性について考え、家族構成やライフステージ等によって家庭の機能の重要性が異なることが考えられる。	・家庭科の学習内容が理解でき、より良い生活を目指して学ぶ意欲を高められる。 ・家族の一員として、自分が積極的に家庭生活を営もうと努力している。 ・積極的に地域活動に参加しようとする態度が身につく。						
	5	私たちの住生活 「住まいの役割と安全な住まい方」 ・住まいの役割 ・住まいと気候風土の関わり ・健康で快適な室内環境 ・家族の住まいの安全・安心 ・災害への対策 ・持続可能な住生活を目指す	住まいの役割やそこに住む家族への影響等を理解し、安心して安全かつ快適な住まいのあり方を理解し、そのために自分自身に取り組めることについて考える。	・住まいの役割と必要な住空間が理解できる。 ・日本の伝統的な住まい方と洋式の住まい方と現代の住まい方が理解できる。 ・室内空気を汚染するものと健康への影響が理解できる。 ・家庭内の事故の危険性について理解できる。 ・防災や減災の方法を機械できる。 ・持続可能な住生活の課題が理解できる。	・住空間の重要性について考えることができる。 ・気候風土によって住まいの特徴があることが考えられる。 ・家族の生活に合った住まい方があることを考えることができる。 ・健康で快適な室内環境について考察できる。 ・家庭内事故の予防や対策を考えられる。 ・災害への備えについて考えられる。 ・持続可能な住生活の工夫を考えられる。	・自分の家庭で大切にしている住空間について考察できる。 ・家族のライフステージに応じて、住まい方が変化することを考察できる。 ・安心して安全かつ快適な住空間を目指して、自分で取り組むことのできる事柄を考えることができる。						
		6					9	私たちの衣生活 「衣類の選択と手入れ」 ・衣服の役割 ・私らしさとT・P・O ・日本の衣服の文化 ・衣服計画と必要な衣服の選択 ・衣服の手入れ	衣服の機能が理解でき、自分らしい服装や衣生活を営むために必要な知識や技術を身につけ、衣服の管理に積極的に取り組もうとする態度を育てる。	・衣服の働きやTPOを踏まえた自分らしい着用品が理解できる。 ・和服と洋服の構成や着用方法の違いが理解できる。 ・既製服の選択と購入のために必要な知識を身に付ける。 ・繊維の特徴とその取扱いが理解できる。 ・洗剤の働きが理解できる。 ・洗濯に使用する薬剤の種類と特徴がわかる。	・着衣が自他に与える影響を考え、服装を決める重要性がわかる。 ・TPOに応じた服装の重要性を考えられる。 ・日本人が和服から洋服中心の生活になった理由を考察できる。 ・目的に応じた購入方法を考え、表示を読み取り適切に選択できる。	・衣服の働きを考慮しながら自分の個性を生かす着用方法を考察しようとする。 ・生活スタイルによって文化が形成されてきたことに興味をもち、文化を継承する重要性を考えられる。 ・家庭において、衣服の取り扱い表示等をみて、洗濯等を行ってみようとする。
		7										
11	12	「私たちの消費生活」 ・消費者としての自覚 ・購入方法と支払い方法 ・バランス良く計画的な金銭管理 ・消費者トラブルとその対策	さまざまな消費方法や支払い方法があることを理解し、それらの長所や短所がわかり、金銭管理のためにどのような消費生活を営む必要があるかを考えることができる。	・消費方法を理解する。 ・契約の意味がわかる。 ・購入方法と支払い方法が理解できる。 ・クレジットカードの仕組みが理解できる。 ・悪徳商法を理解できる。 ・消費者トラブルに巻き込まれた時の対処方法がわかる。	・さまざまな消費方法の利便性と危険性について考えることができる。 ・さまざまな購入方法と支払い方法の利便性と危険性について考えることができる。 ・身近に起きている消費者トラブルについて考えることができる。	・金銭管理の重要性に気づき、自分の生活を振り返り、消費や支払いにおいてどのような方法をとっていかれることができる。 ・次々と新たな商法が出てくることを考え、情報収集のしようとする態度を養う。						
後期	1	2	3	1	2	3						

令和8年度 住吉中学校 英語科年間計画 第1学年 田子さやか・家室瞳

教科目標:これまでの自分のことや社会的な問題などについて、聞いたり読んだりしたことをもとに伝え合うことができる。

[L]=聞く、[R]=読む、[SI]=話す(やり取り)、[SP]=話す(発表)、[W]=書く

月	単元・教材名	到達目標・活動目標 (重点化領域)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4月	Let's Be Friends!	① [L] 友達のことを知ろう ② [SI] [L] 言葉で人とつながろう ③ [L] [SI] 誕生日や好きなものをたずね合おう ④ [L] [SP] 春休みの出来事を発表しよう ⑤ [L] [SI] 中学校でしたいことを伝え合おう ⑥ [SI] 数字のゲームで仲よくなろう ⑦ [SP] [L] 自己紹介をしよう ⑧ [L] [R] [W] アルファベットを確かめよう	<知識>小学校で既習の表現・語句の意味や働きを理解している。 <技能>小学校で既習の表現・語句の意味や働きについての理解をもとに、自己紹介の内容を聞き取ったり、自己紹介したりする技能を身につけている。	自分のことを友達に知ってもらうために、伝えたい情報を整理して、自己紹介をしている。 クラスの友達について知るために、自己紹介を聞いて、おおまかな内容を捉えている。	自分のことを友達に知ってもらうために、伝えたい情報を整理して、自己紹介をしようとしている。 クラスの友達について知るために、自己紹介を聞いて、おおまかな内容を捉えようとしている。
4~5月	Unit 1 Here We Go!	[L] 会話から、話し手についての情報を聞き取ることができる [W] 自己紹介カードに、自分の情報を書くことができる	<知識>I am [I'm] ~. / I (don't) like ~. / I can [can't] ~. の文の意味・形・使い方を理解している。 <技能>I am [I'm] ~. / I (don't) like ~. / I can [can't] ~. などについての理解をもとに、自己紹介の内容を聞き取ったり、自分の情報を書いたりする技能を身につけている。	登場人物について知るために、自己紹介カードをもとにした会話から、必要な情報を聞き取っている。 自分のことを友達に知ってもらうために、自己紹介カードに名前や好きなもの、できることなど、自分の情報を書いている。	登場人物について知るために、自己紹介カードをもとにした会話から、必要な情報を聞き取ろうとしている。 自分のことを友達に知ってもらうために、自己紹介カードに名前や好きなもの、できることなど、自分の情報を書こうとしている。
6月	Unit 2 School Activities	[L] 会話から、興味のあることなどについての質問を聞き取ることができる [SI] 興味のあることなどについてたずねることができる	<知識>Are you ~? / Do you ~? / Can you ~? の文の意味・形・使い方を理解している。 <技能>Are you ~? / Do you ~? / Can you ~? などについての理解をもとに、部活動などについて実際のコミュニケーションを行う技能を身につけている。	登場人物が誘われた活動や、たずねられたことなどを知るために、やり取りから、必要な情報を聞き取っている。 自分がしている活動のメンバーを見つけるために、友達が興味のあることなどについて、その場でたずねている。	登場人物が誘われた活動や、たずねられたことなどを知るために、やり取りから、必要な情報を聞き取ろうとしている。 自分がしている活動のメンバーを見つけるために、友達が興味のあることなどについて、その場でたずねようとしている。
7月	Unit 3 Enjoy the Summer	[L] 会話から、話し手が夏休みすることなどを聞き取ることができる [SP] 夏休みすることなどについて、その場で話すことができる	<知識>What do you ~?, 動詞の-ing 形, want to ~ の文の意味・形・使い方を理解している。 <技能>What do you ~?, 動詞の-ing 形, want to ~ などについての理解をもとに、夏休みについて、会話の内容を聞き取ったり、話したりする技能を身につけている。	Ms. Thusiのことを学級新聞に書くために、メモをもとに会話を聞いて、必要な情報を捉えている。 Ms. Thusiが知りたいことに応えるために、夏休みすることなどについて、その場で話している。	Ms. Thusiのことを学級新聞に書くために、メモをもとに会話を聞いて、必要な情報を捉えようとしている。 Ms. Thusiが知りたいことに応えるために、夏休みすることなどについて、その場で話そうとしている。
	You Can Do It! 1 友達の新しい一面を見つけよう	[L] [SI] 自分のことを伝え、相手のことをよく知ることができる	<知識>既習の表現・語句の意味や働きを理解している。 <技能>既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、自分や相手のことについて、会話の内容を聞き取ったり、話したりする技能を身につけている。	友達の新たな一面を見つける質問をするときの参考にするために、登場人物の会話から、必要な情報を聞き取っている。 お互いについてより深く知るために、興味のあることなどについて、その場でやり取りしている。	友達の新たな一面を見つける質問をするときの参考にするために、登場人物の会話から、必要な情報を聞き取ろうとしている。 お互いについてより深く知るために、興味のあることなどについて、その場でやり取りしようとしている。
9月	Unit 4 Our New Friend	[L] 人物の特徴の説明から、必要な情報を聞き取ることができる [SP] 伝えたい情報を整理して、人物を紹介することができる	<知識>3人称単数を主語とするbe動詞の文, Who's ~?, Is this [he / she] ~? の文の意味・形・使い方を理解している。 <技能>3人称単数を主語とするbe動詞の文, Who's ~?, Is this [he / she] ~? などについての理解をもとに、身近な人物について、説明の内容を聞き取ったり、話したりする技能を身につけている。	話題にあがっている人物を特定するために、登場人物の説明から、必要な情報を聞き取っている。 ALTに他の教科の先生のことをより知ってもらうために、伝えたい情報を整理して、紹介したい先生について発表している。	話題にあがっている人物を特定するために、登場人物の説明から、必要な情報を聞き取ろうとしている。 ALTに他の教科の先生のことをより知ってもらうために、伝えたい情報を整理して、紹介したい先生について発表しようとしている。
10月	Unit 5 Hi, David!	[R] チャットのやり取りから、必要な情報を読み取ることができる [SI] 観光プランを考えるために、時間や場所の希望をきき出すことができる	<知識>命令文, Where ~?, When ~? の文の意味・形・使い方を理解している。 <技能>命令文, Where ~?, When ~? などについての理解をもとに、観光プランについてのチャットのやり取りの内容を読み取ったり、観光プランを考えるために、時間や場所の希望をきき出したりする技能を身につけている。	観光プランを伝えるメモを完成させるために、チャットのやり取りから、必要な情報を読み取っている。 おすすめの観光プランを考えるために、ALTの行きたい場所やしたいことなどについてやり取りしている。	観光プランを伝えるメモを完成させるために、チャットのやり取りから、必要な情報を読み取ろうとしている。 ALTにおすすめの観光プランを考えるために、行きたい場所やしたいことなどについてやり取りしようとしている。
11月	Unit 6 Cheer Up, Tina	[R] 身近な人を紹介する文章を読み、おおまかな内容を捉えることができる [W] 友達のすてきなところが伝わる、紹介文を書くことができる	<知識>3人称単数を主語とする一般動詞の肯定文・疑問文・否定文の意味・形・使い方を理解している。 <技能>3人称単数を主語とする一般動詞の肯定文・疑問文・否定文などについての理解をもとに、紹介文の内容を読み取ったり、紹介文を書いたりする技能を身につけている。	登場人物が友達のどんなところを伝えたいと思っているかを知るために、紹介文を読んで、おおまかな内容を捉えている。 友達のすてきなところをALTに伝えるために、伝えたい情報を整理して、紹介文を書いている。	登場人物が友達のどんなところを伝えたいと思っているかを知るために、紹介文を読んで、おおまかな内容を捉えようとしている。 友達のすてきなところをALTに伝えるために、伝えたい情報を整理して、紹介文を書こうとしている。
12月	You Can Do It! 2 ゲストの魅力を伝えるMCになろう	[R] [W] 身近な人のことを紹介することができる	<知識>既習の表現・語句の意味や働きを理解している。 <技能>既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、ゲストを迎える人物についての紹介文の内容を読み取ったり、紹介文を書いたりする技能を身につけている。	登場人物がゲストについて紹介したいことを知るために、ゲストを呼び込むときに使う台本を読んで、おおまかな内容を捉えている。 ゲストの魅力を動画の視聴者に伝えるために、伝えたい情報を整理して、ゲストを呼び込むときに使う台本を書いている。	登場人物がゲストについて紹介したいことを知るために、ゲストを呼び込むときに使う台本を読んで、おおまかな内容を捉えようとしている。 ゲストの魅力を動画の視聴者に伝えるために、伝えたい情報を整理して、ゲストを呼び込むときに使う台本を書こうとしている。
1月	Unit 7 The New Year in Japan	[R] 出来事を伝えるはがきを読み、おおまかな内容を捉えることができる [W] 出来事や気持ちが伝わるように、はがきを書くことができる	<知識>一般動詞やbe動詞の過去形の文の意味・形・使い方を理解している。 <技能>一般動詞やbe動詞の過去形についての理解をもとに、冬休みの様子などについて書かれたはがきの内容を読み取ったり、冬休みの様子を書いたりする技能を身につけている。	登場人物から送られてきたメッセージの内容を知るために、はがきを読み、おおまかな内容を捉えている。 冬休みの様子をDavidに伝えるために、伝えたい情報を整理して、はがきの返事を書いている。	登場人物から送られてきたメッセージの内容を知るために、はがきを読み、おおまかな内容を捉えようとしている。 冬休みの様子をDavidに伝えるために、伝えたい情報を整理して、はがきの返事を書こうとしている。
2月	Unit 8 Getting Ready for the Party	[L] 場面の様子の説明を聞き、おおまかな内容を捉えることができる [SP] 場面の様子が伝わるように、起こっていることを説明することができる	<知識>現在進行形や過去進行形の文の意味・形・使い方を理解している。 <技能>現在進行形や過去進行形などについての理解をもとに、誕生日パーティーの様子についての説明を聞き取ったり、説明したりする技能を身につけている。	登場人物や誕生日パーティーがどのような様子か知るために、電話での説明を聞いて、おおまかな内容を捉えている。 登場人物や誕生日パーティーの様子をGrandpaに伝えるために、伝える情報を整理して、起こっていることなどを説明している。	登場人物や誕生日パーティーがどのような様子か知るために、電話での説明を聞いて、おおまかな内容を捉えようとしている。 登場人物や誕生日パーティーの様子をGrandpaに伝えるために、伝える情報を整理して、起こっていることなどを説明しようとしている。
3月	You Can Do It! 3 動画で学校の魅力を紹介しよう	[L] [SP] イベントや学校を紹介することができる	<知識>既習の表現・語句の意味や働きを理解している。 <技能>既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、学校紹介の内容を聞き取ったり、学校を紹介したりする技能を身につけている。	イギリスに住むLizzyの学校について知るために、学校紹介を聞いて、おおまかな内容を捉えている。 Lizzyに自分の学校の魅力を伝えるために、伝えたい情報を整理して、学校を紹介している。	イギリスに住むLizzyの学校について知るために、学校紹介を聞いて、おおまかな内容を捉えようとしている。 Lizzyに自分の学校の魅力を伝えるために、伝えたい情報を整理して、学校を紹介しようとしている。

<p>Let's Read More My Japanese Lessons</p>	<p>[R] レポートを読んで、おおまかな内容を捉えることができる</p>	<p><知識>既習の表現・語句の意味や働きを理解している。 <技能>既習の表現・語句の意味や働き の理解をもとに、日本語と英語について 書かれたレポートの内容を読み取る技 能を身につけている。</p>	<p>Tinaが日本語を学びながら感じたことを 知るために、レポートを読み、おおまか な内容を捉えている。</p>	<p>Tinaが日本語を学びながら感じたことを 知るために、レポートを読み、おおまか な内容を捉えようとしている。</p>
--	---------------------------------------	--	---	---

特別の教科「道徳」 1学年 年間指導計画

月	番号	教材名	学習指導要領との関連	ねらい
4	1	道徳の学習を始めよう		道徳科で何を学ぶのか、どのように学ぶのかについて考えさせながら、1年間の道徳科の学びの見通しをもたせ、これからの学びを広げたり、深めたりしていこうとする実践意欲と態度を育てる。
	2	父の言葉	B(6)思いやり、感謝	黒柳徹子さんが福祉やユニセフに携わる出発点となった少女時代の出来事を描いた文章を通して、相手のことを考えて行動するときに大切なのはどんなことを考えさせ、思いやりの心をもって人と接していこうとする心情を育てる。
5	3	自分で決めるって?	A(1)自主、自律、自由と責任	部活動や定期テスト、新たな人間づくりなど、入学時に直面する中学校生活特有の場面から、自分で何かを「決める」ときに大切なのはどんなことを考えさせ、自主的に考え行動し、その責任を全うする判断力を育てる。
	4	学習机	B(7)節度、節制	お客さまを相手にトラブルを起こした新入社員「私」が、自分の考えを改めていく姿を通して、人と関わるときに大切な礼儀の心とはどんなものかについて考えさせ、相手を敬い、時と場に応じた行動を取ろうとする心情を育てる。
	6	席を譲ったけれど	B(6)思いやり、感謝	中学生が高齢者にバスで席を譲ったときに起こったトラブルを記した投稿と、その反響を通して、人を思いやるときに大切なことは何かについて考えさせ、思いやりや感謝の心をもって他者に接していこうとする判断力を育てる。
6	7	親友	B(8)友情、信頼	異性の友達と友情を育んできた「僕」の物語を通して、心から信頼できる友達の尊さを理解し、人間関係を深めようとする心情を育てる。
	8	魚の涙	C(11)公正、公平、社会正義	筆者が中学生時代の経験をもとに記した文章を通して、誰かが不公平な状況にあるときにどんな考えをもつことができるかについて考えさせ、自分の弱さと向き合い、正義を大切に公正であろうとする判断力を育てる。
	9	いつも教室の中で	C(11)公正、公平、社会正義	AさんからDさんの立場で、同じじめの場面を見た漫画を通して、いじめが起こらないようにするためにどうすればよいかを考えさせ、社会をよりよいものにするために、自分の立場に目を向け、公正であろうとする実践意欲と態度を育てる。
	10	レタス博士	A(5)真理の探究、創造	親友の樹里がレタスの研究に取り組む姿やそれを誇らしく感じる「私」が描かれた教材を通して、真理を探究する心について考えさせ、好奇心をもって真実を求め、新しいものを生み出そうとする心情を育てる。
7	11	みんなで成功させよう	C(15)よりよい学校生活、集団生活の充実	文化祭準備のグループのリーダーになった信悟の悩みを通して、よりよい集団の一員であるためには、どんな考えが大切なのかについて考えさせ、自分の役割と責任を自覚し、協力して集団生活を向上させようとする判断力を育てる。
	12	ひまわり	D(19)生命の尊さ	東日本大震災で家族を失った佐々木さんの思いを通して、命のどんなところに尊さを感じるのかを考えさせ、自他の命を大切にしていこうとする心情を育てる。
9	13	夢を諦めない——「ねぶた師」北村麻子	A(4)希望と勇気、克己と強い意思	初の女性ねぶた師・北村麻子さんが、夢を抱き、実現していく姿を描いた文章を通して、夢をかなえるために大切なことは何かについて考えさせ、夢や目標に向かい、困難を乗り越え、希望をもってやり抜こうとする実践意欲と態度を育てる。
	14	見方を変えると	A(3)向上心、個性の伸長	リフレーミングのグループワークを通して、個性を伸ばすために大切なのはどんなことを考えさせ、自己を見つめ直し、短所も含めた自分の個性を肯定的に捉え伸ばしていこうという実践意欲と態度を育てる。
	15	裏庭での出来事	A(1)自主、自律、自由と責任	友達に流され、ガラスを割ったことを正直に言えなかったことに悩む健の姿を通して、自分の行動に責任をもつとはどういうことかについて考えさせ、自ら考え、誠実に行動し、その結果に責任をもとうとする判断力を育てる。
10	16	「ソーセージ」の悲しい最後	D(20)自然愛護	観光客の身勝手な餌やりが原因で駆除されてしまったヒグマのエピソードを通して、人と自然がよりよい関係を築くためにはどんな考えが必要かについて考えさせ、人間と自然とのよりよい関わり方を求め、自然を尊重しようとする判断力を育てる。
	17	わかりあうために	B(9)相互理解、寛容	街中で無視されたと憤るAさん、友達にないがしろにされたと落ち込むBさんの事例を通して、自己と異なる他者とわかり合うことについて考えさせ、一方的な見方で判断せず、相手の立場や考えを理解・想像し、尊重しようとする判断力を育てる。
	18	使いすぎて、どういうこと?	A(2)節度、節制	スマートフォンやタブレット端末の使い方についてのグループワークを通して、節度ある端末の使い方について考えさせ、節度を守り、節制の意義を考え、それを心がけようとする実践意欲と態度を育てる。
	19	僕の家族、地球の家族	C(14)家族愛、家庭生活の充実	世界を旅し、さまざまな家族と出会ってきた長倉洋海さんの文章を通して、家族について考えさせ、自分なりに家族に対する考えをもとうとする心情を育てる。
11	20	初めてのボランティア	C(12)社会参画、公共の精神	初めてのボランティアで、喜びや達成感を得た「私」の物語を通して、ボランティアなどを通して社会に関わることで得られるものは何かについて考えさせ、社会参画の意識と社会連帯の大切さについて考えようとする心情を育てる。
	21	動物の命——私たちにできること	D(19)生命の尊さ	犬や猫の殺処分や保護の活動に関する三つの資料を通して、身近な生き物の命について考えさせ、かけがえのない命を大切にしていこうとする実践意欲と態度を育てる。
	22	仏の銀蔵	C(10)遵法精神、公德心	高利貸しの男とその男から金銭を借りていた人々の物語を通して、法やきまりを守る心について考えさせ、法やきまりの自律的な捉え方を意識し、法やきまりを守ろうとする自尊心を大切にすることの心情を育てる。
12	23	白いスニーカー	C(10)遵法精神、公德心	部内の暗黙のきまりを巡るさまざまな意見を通して、きまりについて考えさせ、自他の権利を大切にしたいよりよいきまりの在り方を求めようとする実践意欲と態度を育てる。
	24	私が働く理由	C(13)勤労	がん患者専門の美容師やごみ削減の啓発活動に取り組む清掃職員の仕事への思いや考え方などを通して、人が働く理由とはどのようなものかについて考えさせ、勤労の尊さや意義を理解し、勤労を通じて社会に貢献しようとする心情を育てる。
	25	私の話を聞いてね	B(9)相互理解、寛容	右手に障害がある女性がインターネット上に発信したメッセージを通して、人と人がわかり合うために大切なことは何かについて考えさせ、自分の考えを相手に伝え、それぞれの違いを前向きに受け止めていこうとする実践意欲と態度を育てる。
1	26	差別の根底にあるものは?	C(11)公正、公平、社会正義	過去にハンセン病に向けられた差別について書かれた記事を通して、差別や偏見のない社会を自覚して、自分たちにできることは何かを考えさせ、差別や偏見のない社会の実現に努めようとする実践意欲と態度を育てる。
	27	むこう岸には	C(18)国際理解、国際貢献	川の両岸に住む肌の色や髪の色、服装が異なる女の子と男の子の物語を通して、他国の人と理解し合うために大切なのはどんな心か考えさせ、他国で生きる人と互いに尊重し合い、世界の平和を大切にしようとする心情を育てる。
	28	レオナルドと僕	C(17)我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	新が和菓子の職人として働く外国人の友人と伝統文化について語り合う物語を通して、伝統を受け継いでいくためにはどんな考えが大切なのかについて考えさせ、伝統を継承し、新しい文化の創造に寄与しようとする心情を育てる。
2	29	エルマおばあさんからの「最後の贈りもの」	D(19)生命の尊さ	死を迎えようとする老人とそれを見守る家族を描いた文章と写真を通して、「生きる」とはどういうことか考えさせ、尊厳ある生と死の在り方について考えていこうとする心情を育てる。
	30	自分の地域の「宝」って?	C(16)郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	郷土への思いが込められた歌「島人ぬ宝」や資料を通して、自分の暮らす地域に目を向けさせ、地域や郷土にあるよさに気づき、それらを大切にしようとする実践意欲と態度を育てる。
3	31	銀色のシャープペンシル	D(22)よりよく生きる喜び	友達のシャープペンシルを自分のものにしてしまったことを言い出せなかった「僕」の姿を通して、心の弱さを乗り越えさせるものは何かについて考えさせ、自身の弱さを乗り越えて人として誇りをもって生きようとする判断力を育てる。
	32	命の木	D(21)感動、畏敬の念	屋久島の原生林に触れた「私」の思いを通して、人の感動の源にあるものを見つめさせ、人が、人間の力を超えたものを前に心動かされるその思いを大切にしようとする心情を育てる。
3	33	「感動」の本質を探ろう	D(21)感動、畏敬の念	自身の感動の経験を深く語り合うことを通じて、「感動」の本質を考えさせ、「感動」を自分の生き方を豊かにすることにつなげようとする実践意欲と態度を育てる。
	34	撮れなかった一枚の写真	D(22)よりよく生きる喜び	フォトジャーナリストの吉田ルイさんがベトナム戦争取材中に抱いた葛藤を記した文章を通して、人としてよりよく生きるとはどういうことか考えさせ、自分の心と向き合い、弱さを乗り越え、自分らしく生きようとする心情を育てる。
	35	一年間の学びを振り返ろう		これまで記入した「まなびの記録」や「ありがとう」の詩を基に、1年間の道徳科で学んだことを振り返り、これからの自分の生き方について考えを深め、学んだことを生かしていこうとする実践意欲と態度を育てる。